

安全データシート (SDS)

1.化学品及び会社情報

製品名 ・ 品番

アワフォーム（難燃タイプ）・ AW-500FRA

供給者名

ジェフコム株式会社

住所

〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

担当部署

製品開発部 品質課

電話番号

072-988-3813

FAX番号

072-988-3800

種類

混合物

用途

隙間充填

2.危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性情報

極めて可燃性/引火性の高いエアゾール

区分1

H222 H229

高压容器:熱すると破裂のおそれ

区分1

H229

健康に対する有害性

吸入すると有害

区分4

H332

皮膚刺激

区分2

H315

皮膚感作性

区分1

H317

強い眼損傷性/眼刺激性

区分2A

H319

呼吸器感作性

区分1

H334

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分3

H335

発がん性

区分2

H351

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分3

H335

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ

区分2

H373

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

注意書き（安全対策）

ポリメチレンポリフェニルイソシアネート

使用前にすべての安全説明書を読み、従うこと

P203

熱/火花/裸火/高温のものなど着火源から遠ざけること ー禁煙

P210

裸火または他の着火源に噴霧しないこと

P211

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと

P251

取扱い後は手をよく洗うこと。眼に触れないこと

P264+P265

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

P271

汚染された作業衣は作業場から出さないこと

P272

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

P280

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること

P261

換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用すること

P302+P352

吸入した場合空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

P304+P340

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと コンタクトレンズを着用していて

P305+P351

容易に外せる場合は外すこと その後も洗浄を続けること

+P338

ばく露またはその懸念がある場合は、医師の診察/手当てを受けること

P318

特別な治療(このラベルの「対応」を参照すること)

P321

皮膚刺激または発疹が生じた場合医療機関の診察/手当てを受けること

P333+P317

眼の刺激が続く場合医療機関の診察/手当てを受けること

P337+P317

呼吸器症状が出た場合直ちに緊急医療機関に連絡すること

P342+P316

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること

P362+P364

保管	換気の良い場所で保管すること 日光から保護すること 10～35℃、正立厳守、横置き厳禁 40℃以上の温度にばく露しないこと	P403+P233 P410+P412
廃棄	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に P501 業務委託すること	

3.組成、成分情報

単一製品混合物の区別 混合物

化学名	含有量 (%)	官報公示整理番号	CAS.No.
ジメチルエーテル	40	2-360	115-10-6
ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート	26.1	7-872	9016-87-9
4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネート	18.9	4-118	101-68-8
ブタン	9	2-4	106-97-8
プロパン	6	2-3	74-98-6

4.応急処置

暴露または懸念がある場合：医師の診断/手当てを受ける。

気分が悪い場合は、医師に連絡してください。

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸をさせる 気分が悪い場合は、医師に連絡する
皮膚に付着した場合	石鹸と多量の水で洗うこと 汚染された服は脱ぐこと 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること
目に入った場合	数分間水で慎重に洗い流すこと コンタクトレンズがある場合は取り外し洗い続けること 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受けること
飲み込んだ場合	無理に吐き出させない 口をすすぐこと 気分が悪い場合は、医師に連絡すること

5.火災時の措置

消火剤	適切な消火剤 不適切な消火剤	炭酸ガス、水スプレー、粉末消火剤、耐アルコール泡、または二酸化炭素で消火する 他の関連情報は得られていない
特定の有害性		加熱により爆発する恐れがある 有毒ガスが放出される場合がある
消火活動を行う者の保護及び 予防措置		適切な呼吸保護具と保護服(耐熱性着衣など)を着用する 可燃性のものを周囲から素早く取り除く 危険でなければ火災区域から容器を移動する

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しないよう 注意すること 屋内であれば換気を良くする 発火源から遠ざけること -禁煙-
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること 製品が環境汚染(下水、水路、土壌または空気)を引き起こした場合は、 関係当局に通知してください
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	固化させて除去する 安全な取り扱いに関する情報については第7項を参照

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること ー禁煙
作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しないよう
注意すること
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
汚染された衣服は再使用前に洗うこと
この製品を使用するとき、飲食、喫煙をしないこと
製品の取扱い後は必ず手を洗うこと

保管

涼しく乾燥した場所に保管すること 保管温度: 10～35℃
直射日光を避けて保管すること
酸化剤と一緒に保管しないこと
可燃性の物質と一緒に保管しないこと
酸や塩基から離すこと

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 設備対策 保護具 保護眼鏡 保護手袋 保護衣

設定されてない
プロセスの隔離、換気装置 適切な換気を確保すること
呼吸用保護具
ゴーグル
ゴム手袋
皮膚に触れないようにすること
飲食及び喫煙前に手を洗うこと。

許容濃度

物質名	最高許容濃度	時間加重平均許容濃度	短時間ばく露許容濃度
ジフェニルメタン ジイソシアネート	—	0.05 mg/m ³	0.1 mg/m ³

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

金属製圧縮タンク(ガスおよび液体を含む)

外観

圧力下の液体

色

淡黄色

臭い

弱い臭気

pH

データなし

融点、凝固点

データなし

沸点

データなし

引火点

データなし

爆発下限及び上限/可燃性限界

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

可燃性

完全硬化後の燃焼性

GB 8624-2012 B1レベル

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

相対密度

データなし

密度

データなし

溶解度

水に一部溶解する

粘度

データなし

爆発性

加圧容器: 加熱すると破裂することがある

酸化特性

データなし

使用最適温度

18～25℃

10. 安定性及び反応性

危険有害反応

利用可能な情報に基づき、既知のものはなし

避けるべき条件

混触危険物質。熱/火花/裸火/高温の表面

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11.有害性情報

急性毒性

経口：利用可能なデータでは、分類基準を満たさない

皮膚：利用可能なデータでは、分類基準を満たさない

吸入：利用可能なデータでは、分類基準を満たさない

分類に関連するLD/LC50値

CAS番号	LD50 経口	LD50 経皮	LC50 吸入
115-10-6	—	—	164000 ppm (ラット, 4時間)
101-68-8	31600 mg/kg (ラット)	—	490 mg/m ³ (ラット, 4時間)
115-10-8	—	—	65800 mg/m ³ (ラット, 6時間)

皮膚腐食性／刺激性

区分2

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分2A

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器: 区分1 皮膚: 区分1

生殖細胞変異原性

利用可能なデータでは分類基準を満たさない

発がん性

区分2

生殖毒性

利用可能なデータでは分類基準を満たさない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分3 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分2

吸引力呼吸器有害性

利用可能なデータでは分類基準を満たさない

その他の有害性

他の関連情報は得られていない

12.環境影響情報

水生環境毒性

CAS番号	淡水魚	ミジンコ (水生生物)	淡水藻類
115-10-6	LC50: >4100mg/L, 96h, 静水 (Poecilia reticulata)	EC50: >4400mg/L, 48h, 静水 (Daphnia magna)	—
101-68-8	LC50: >1000mg/L, 96h, Brachydanio rerio	EC50: >1000mg/L, 24h, ミジンコ	—

残留性及び分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

CAS番号	Log Pow
101-68-8	4.5

その他の環境有害作用

内分泌攪乱物質情報

本製品は、既知または疑いのある内分泌攪乱物質を含んでいない

残留性有機汚染物質

本製品は、既知または疑いのある物質を含んでいない

オゾン層破壊係数

本製品は、既知または疑いのある物質を含んでいない

13.廃棄上の注意

容器及び包装

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14.輸送上の注意

国連番号

1950

国連の正式な出荷名

UN 1950 エアゾール, 2.1 (IMDG), (RID)

国際規制

海上規制情報: IMO規定に従う

航空規制情報: IATAの規定に従う

国内規制

陸上規制情報: 消防法、高圧ガス保安法に従う

海上規制情報: 船舶安全法に従う

航空規制情報: 航空法に従う

緊急時応急措置指針番号

126

15.適用法令

高圧ガス保安法
消防法
労働安全衛生法

エアゾール
危険物：第四類 第四石油類 危険等級Ⅲ
表示物質 通知物質

船舶安全法
航空法

高圧ガス・引火性高圧ガス
高圧ガス・引火性高圧ガス

16.その他の情報

引用文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルSDS

IATA とは、「国際航空運送協会」(International Air Transport Association)をいう。

IMDGとは、「国際海上危険物」(International Maritime Dangerous Goods)をいう。

RID とは、「鉄道による危険物の国際輸送に関する規制」

(Regulations concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Rail)をいう。

ADRとは、「道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定」

(European Agreement concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road)をいう。

IMO とは、「国際海事機関」(International Maritime Organization) をいう。

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保証値ではありません。